

事業報告書（研究・開発支援系専門部会、2024年度研究開発支援ゼミ 第1回）

事業名称	2024年度研究開発支援ゼミ 第1回	開催日	2024年7月4日
開催場所	オンライン+現地(聖隷クリストファー大学)	開催時間	19:00~20:40
参加者	会員参加：15名（内静岡県理学療法士会員：3名）		

【活動内容】

2024年度研究開発支援講ゼミは現地参加1名、オンライン参加14名、計15名（県士会員3名、県外士会員12名）にご参加いただいた。講師の佐久間俊輔先生より「きみはどう学会発表するか？～症例発表から研究発表まで～」をテーマに、受講生が学会発表にエントリーできるよう、症例発表から研究発表へと発展させるプロセスを自験例に基づき解説、統計解析に必要な基本知識など抄録作成に必要な要素についてご講義いただいた。

事前アンケートにて参加者の要望を把握し、可能な限り参加者のニーズに沿うよう講義内容を構成いただいた。また、演習ではデモデータを使用し、参加者にも実際に手でExcelでの統計解析を体験いただき、ご自身でも実践できるような参加型のゼミとなった。

参加者アンケートでは講義の理解度および満足度ともに高く、「症例発表を行う予定で実際の資料などを見ることができ参考になった」「P値の解説が分かりやすくようやく理解できた」「分析に関してどのように対応していくのかわかりやすく説明していただきよかった」「症例報告を検討しており、基本的な流れを復習でき良かった」「研究計画のテーマ決めについて悩んでいたが文献の「はじめに」「背景」から筆者の着想が読み取れるということがこれからのテーマ決めに対し文献を読む際の参考になった」「発表に関しての不明点を理解する事ができた」「考え方の理解が深まる内容であった」とのコメントをいただいた。また、演習においても理解度および満足度ともに高く、「統計の演習をやっていたおかげで苦手意識が少し薄れた。また参加させていただきたい、個人的にも相談に乗っていただきたい」「なかなか上手くいかないところもあったが講師の先生がわかりやすく説明していただきよかった」「統計の基本的なところが分かりにくく苦手に感じていたが、分かりやすく解説して頂き理解することができた」

「エクセルでの統計解析方法が理解でき今後の統計解析を行う際の参考になった」「演習を通じて統計方法に触れられた」とのコメントをいただいた。その一方で、症例発表のみを予定している方やExcelの操作がうまくできなかった方には十分ではなかった。改善点については特にコメントはなく、今後開催してほしい講座のテーマや企画としては、「論文検索に特化したセミナー」「演習シリーズはいかがでしょうか」といった演習を含む内容や「研究発表までの流れやスケジュール感に関する体験談」といった実践的なプロセスについての要望を確認できた。

今回の参加者は、これから研究を始める若手だけでなく臨床経験が10年以上の中堅以上の方も多く、「知人共に統計解析などが詳しい方がおらず、だれに相談していいかわからなくて困っていたので大変助かりました」といった周囲に指導者などがいない方を研究へと導く機会となったのではないかと感じている。事前アンケートの周知に課題があるが、回答から得たニーズに応えられるような内容を検討し、今後の学会発表する方、研究に取り組みたい方を支援する活動を継続していきたい。

【活動風景】

